

令和6年度「まちづくり懇談会」開催報告書 【藤沢地域】

1 会の概要

日時	9月5日(木) 18:30~20:00	場所	藤沢支所2階 中会議室
対象地区	藤沢地域	対象者	商工会議所青年部藤沢支部役員、地元企業・誘致企業役員、農業法人等
テーマ	10年後の地域のすがた ～地域の産業と雇用の維持・発展のために必要なことが何かを考える～		
参加者	商工会議所青年部藤沢支部役員、地元企業・誘致企業役員、農事組合法人、JAいわて平泉職員 8人		
市出席者	藤沢支所長、藤沢支所次長兼地域振興課長、各課長等、地域振興課員 6人		
特記事項			

2 懇談会で出された意見等

No.	区分	項目	内容	備考
1	意見	地域の課題	県境の地域で、求人情報は県境を越えにくいいため雇用の確保に苦労する。	
2	意見	地域の課題	立地して20年経過するが、事業拡張を考えるときに場所がない。丁度よい平坦が土地がない。	
3	意見	地域の課題	若年層は先進的な企業、事業所に魅力を覚える。畜産業にもIT技術が活用される時代である。そうした中で成功を収めている事例もあると思う。成功事例に光を当て、行政が盛り上げることが必要。	
4	意見 提案	地域の課題	藤沢地域は幹線道路から遠く、今年から出ているトラック問題も相まって輸送の問題が大きい。また、電波環境が悪いため、道路、電波環境の整備が必要と考える。	
5	意見 提案	地域の利点	公有林が多くあり、今が伐期。山林から道路へのアクセスを整備し、木材を切り出し易くすれば林業振興に繋がる。また、遊休農地の活用により農業も発展できる。	
6	意見 提案	地域の利点	近隣の主要市街地までの距離が均等（一関、気仙沼、佐沼）。アクセスを整備し、「行き易い」から「来易い」を目指したい。	
7	意見 提案	地域の利点	文化ホール、温水プール、野球場など公共施設が充実している。外からの集客のため、アクセスが整備されると良い。	
8	意見	地域の利点	平泉と三陸の中継地に成り得る立地。	
9	意見 提案	地域の利点	クリシタン資料館や関連史跡など歴史的な財産がある。点在する財産を上手く結びつけるストーリーを構築し、集客に活かせると良い。	
10	意見	地域の利点	平泉、東山、藤沢の観光はそれぞれ別のアプローチが必要。DMOなどによる上手なコーディネートが	

			欲しい。	
11	意見	理想とできること	一度外に出ても「やっぱり地元がいい」と思える空気感の醸成が大切。	
12	意見 要望	理想とできること	農事組合法人として、年代を問わず新規就農者を雇用する体制を作っている。そのためには住環境の整備が必要で、空家等の活用について市は柔軟に取り組んで欲しい。	
13	意見	理想とできること	農事組合法人として、デジタル活用により自分たちの取組を発信し、魅力を伝えていくことが大事。	
14	意見	理想とできること	刺激がないと若者は出て行ってしまうのが現実。	
15	意見	理想とできること	人口減少に左右されない地域経済の仕組み、マインドを作っていきたい。	
16	意見	理想とできること	やはり雇用の確保が大事。良好な雇用環境が生まれるためには、より多くの事業所の立地が必要。観光分野と同じくPRにより、「行きたい場所」＝「住みたい場所」＝「働きたい場所」という流れが生まれれば人口減少は減速する。	
17	意見 提案 要望	理想とできること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県境を越えた人材確保の方策を市と協力して打ち出していきたい。 ・ 子どもたちの市内の地域間交流を活発にし、地域の魅力を市内で共有させることで子どもたちの将来の選択肢が増える。 ・ 長年実施してきた国際交流の実績を活かしたコミュニティ形成により、外国の人材も活用できるようになる。 ・ ICTインフラ整備を求める。 	
18	意見	理想とできること	理想は「現状維持」。	